## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成25年12月27日

【四半期会計期間】 第42期第3四半期(自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)

【会社名】 株式会社サンワドー

【英訳名】 SANWADO corp.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中村 勝弘

【本店の所在の場所】 青森県青森市大字石江字三好69番地1

【電話番号】 017(782)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営企画部長 工藤 隆幸

【最寄りの連絡場所】 青森県青森市大字石江字三好69番地1

【電話番号】 017(782)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営企画部長 工藤 隆幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第3四半期連結 累計期間	第42期 第 3 四半期連結 累計期間	第41期
会計期間	自 平成24年 2 月21日 至 平成24年11月20日	自 平成25年 2 月21日 至 平成25年11月20日	自 平成24年 2 月21日 至 平成25年 2 月20日
売上高(千円)	23,351,616	23,529,581	31,180,557
経常利益(千円)	721,993	496,790	973,190
四半期(当期)純利益(千円)	389,904	277,802	523,269
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	361,416	408,932	651,692
純資産額(千円)	4,961,183	5,597,038	5,251,459
総資産額(千円)	17,920,778	19,007,574	17,104,631
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	73.85	52.62	99.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	•	-	-
自己資本比率(%)	27.7	29.4	30.7

回次	第41期 第3四半期連結 会計期間	第42期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日	自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.25	20.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
  - 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
  - 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

### 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間(平成25年2月21日~平成25年11月20日)における我が国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって、生産・個人消費面に改善傾向が見られるに至りました。また、引続き円安・株高にあり、輸出環境の好転と相俟って業績を持ち直す企業が多くなり、景気回復の明るさが感じられます。 反面、円安による輸入原材料の値上りや新興国経済の成長鈍化などの懸念要因もあり、実体経済の先行き不透明感は拭えない状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、4月にジョーシンサンワドー中央店がグランドオープンし、家電売場の充実を図ったほか、従来より推し進めている食品部門の強化・拡充策として、北海道地区4店舗、青森地区1店舗に業務スーパーを導入したほか、10月にはサンワドー業務スーパー浪岡店(青森市)、イエローハット三沢店(青森県三沢市)を新規出店し、お客さまの利便性向上に努めました。ホームセンター部門では、第3四半期に入り除雪機の早期予約セールやスタッドレスタイヤキャンペーン等の施策を行ったことに加え、降雪と同時に冬用の自動車関連用品、除雪用品、暖房関連商品、防寒衣料、長靴等の売上が急伸しました。経費面においては、家電売場の増設及び食品部門強化に伴う人員増加と、冷凍・冷蔵設備等の増設によって、人件費、水道光熱費が増加しました。あわせて、新規出店・店舗改装等による減価償却費、修繕費、販売用消耗品費が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,529百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は452百万円 (前年同期比35.0%減)、経常利益は496百万円(前年同期比31.2%減)、四半期純利益は277百万円(前年同期比 28.8%減)となり、増収減益となりました。減益の要因は、主に食品部門の売上構成比の上昇による売上総利益率 の低下及び店舗の出店や改装等による販売費及び一般管理費の増加によるものであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

### 「リビング」

「リビング」の売上高は6,549百万円(前年同期比4.6%減)となりました。春先の低温による暖房用品の特需や、新規に取り組んだ布団、マットレス等の寝具やソファーが好調でした。その後、気温の上昇と共に、い草関連商品が好調に売上を伸ばしました。一方、長雨や台風の影響にて行楽用品が売れなかったことや、残暑が無かったことでのタオル等の動きが鈍ったほか、洗濯洗剤、仕上剤も売上を落としました。また、冬物商材に早い動きが見られたものの対応が遅れ、カーペット、カーテンが売上を落としました。その他、ティッシュ、トイレットペーパー等の紙製品類が為替の影響により値上がりし、販売数が減少したため売上を落としました。家電では猛暑の影響によりエアコンが売上を伸ばしたほか、大型石油暖房機、小型液晶テレビが好調に推移しました。しかし、昨年までの反射式ストープ需要の反動減と電気料金の値上による電気ストープが苦戦したほか、大型液晶テレビ、レコーダーの価格上昇で販売数が伸びず売上を大きく落とし、関連商品であるアンテナ、分波器等も不振でした。

この結果、セグメント損失は54百万円(前年同期は54百万円のセグメント利益)となりました。

#### 「食品」

「食品」の売上高は7,618百万円(前年同期比6.2%増)となりました。春先の低温による桜の開花時期の遅れや、大型連休期間の天候不順により、清涼飲料、お茶等の小型ペット飲料が不調でした。また、激化する競合店との価格競争に巻き込まれ缶飲料が売上を落としました。一方で、7月に入り気温の上昇とともに不調に推移していた冷蔵品、日配品が売上を伸ばしたほか、ビールや新ジャンルの酒類が好転しました。また、従来より進めている食品部門の強化策として、3月に大館店へ日配品・冷蔵品を新規導入するなど既存店の食品売場拡充や品揃え、価格等の見直しを行ったことにより、冷凍食品、菓子が好調に推移しました。さらに北海道では初となる業務スーパーを4月に本通店、上磯店、登別店、5月に砂川店、8月に青森東バイパス店にそれぞれ導入したほか、10月にサンワドー業務スーパー浪岡店を新規出店したことにより食品部門全体の売上を押し上げ前年を上回りました。

この結果、売上高は増収となりましたが、セグメント利益は新規出店・店舗改装等による販売費及び一般管理費が増加したため97百万円(前年同期比46.5%減)となりました。

#### 「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は5,105百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

「DIY」は、電動工具、先端パーツ、単管、セメント等が堅調に推移しました。一方で、昨年発生した雪害特需や竜巻被害による補修需要の反動減が見られ、住宅の屋根・壁等の修繕に使用する建築資材等が不調であり、補修に関連した工具も売上を落としました。また、7~8月にかけての季節商品ピーク時においては、長雨及び局地的豪雨の影響により網戸関連が低調だったほか、7月下旬からの猛暑の影響により塗料等の屋外作業用品が売上を落としました。

「グリーン」は、春先の残雪や低温の影響により主力商品である花・野菜苗、用土、肥料、除草剤等で売上を落としました。一方で、季節商品の早期展開や新規商品の取り扱いにより売上確保に努めた結果、早期予約販売を行った除雪機で売上を大きく伸ばしました。また、降雪時の欠品防止に注力したことで、除雪用品、防寒衣料、防寒長靴等も売上を伸ばしたものの、主力商品の不振をカバーするまでには至らず期間中のDIY&グリーン全体としては減収となりました。

この結果、セグメント利益は206百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

#### 「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は3,018百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

「カー」は、春先の長引いた降雪と今冬の雪の降り始めが早かったことからスタッドレスタイヤ、アルミホイール、ワイパーブレード、スノーブラシ、不凍液や解氷剤等の冬季用品が売上を伸ばしました。スタッドレスタイヤ、アルミホイールは、早期予約セールやセット組販売を行い売上を伸ばしました。また、10月に新規出店したイエローハット三沢店も売上に寄与しました。反面、新車販売台数の減少傾向から夏タイヤ、レーダー、エンジンスターターの売上に響き、また、スマートフォンの普及や地デジ需要が落ち着いたことによりポータブルナビが売上を落としました。さらに、気温の変化が緩やかであったことからバッテリーの販売数も減少し、第2四半期連結累計期間までの落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。

「レジャー」は、テント、チェア、コンロ等の厳選商品を早期割引で販売したことにより売上を伸ばしました。また、健康器具、フィットネス用品等の新規商品が好調に推移しました。しかしながら、これまで順調だったバーベキュー関連商品では残暑が短かったことにより売上を落としたほか、主力の自転車は一部の軽快車、通勤用車は好調だったものの、全体的には販売ピーク時期の天候不順が客数に響き、売上を落としました。

この結果、セグメント利益は81百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

### 「その他」

「その他」の売上高は1,238百万円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益は17百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

#### (2)財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,902百万円増加し、19,007百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,367百万円増加し、6,505百万円となりました。主に、商品及び製品が季節商品品揃え等により750百万円、受取手形及び売掛金が294百万円、及び現金及び預金が170百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加し、12,502百万円となりました。主に、投資有価証券が時価評価等により476百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,557百万円増加し、13,410百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、7,787百万円となりました。主に、短期借入金が約定返済等により1,215百万円、未払法人税等が272百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が仕入高増等により921百万円、1年内返済予定の長期借入金が787百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,476百万円増加し、5,622百万円となりました。主に、社債が470百万円減少しましたが、長期借入金が1,774百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、5,597百万円となりました。利益剰余金が214百万円、その他有価証券評価差額金が131百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.4%となりました。

#### (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4)研究開発活動

該当事項はありません。

# 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

### (1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)	
普通株式	16,800,000	
計	16,800,000	

### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月20日)	提出日現在発行数(株) (平成25年12月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,280,000	5,280,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	5,280,000	5,280,000	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】 該当事項はありません。

- (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。
- (4)【ライツプランの内容】 該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

( - ) = > 0   3   1   1	11-01110.22					
年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年 8 月21日 ~ 平成25年11月20日	-	5,280,000	-	704,025	-	747,805

## (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

四半期報告書

株式会社

### (7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、 記載することができないことから、直前の基準日(平成25年8月20日)に基づく株主名簿による記載をしてお ります。

### 【発行済株式】

平成25年11月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,279,400	52,794	-
単元未満株式	普通株 式	-	-
発行済株式総数	5,280,000	-	-
総株主の議決権	-	52,794	-

- (注) 1.証券保管振替機構名義の株式1,000株(議決権の数10個)は、完全議決権株式(その他)に含めて 記載しております。
  - 2.単元未満株式には、当社名義の自己株式28株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年11月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の 割合(%)
株式会社サンワドー	青森県青森市大 字石江字三好69 番地 1	500	-	500	0.01
計	-	500	-	500	0.01

### 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2.監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

# 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

	前連結会計年度 (平成25年 2 月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
·····································		
現金及び預金	468,416	639,39
受取手形及び売掛金	311,122	605,98
有価証券	3,148	3,15
商品及び製品	4,112,017	4,862,96
繰延税金資産	95,719	91,24
その他	147,730	302,59
貸倒引当金	-	7
流動資産合計	5,138,154	6,505,26
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,142,299	2,206,28
土地	5,488,963	5,488,96
その他(純額)	272,466	466,31
有形固定資産合計	7,903,729	8,161,56
無形固定資産	19,370	
投資その他の資産	19,370	18,28
投資有価証券	942,208	1,418,29
繰延税金資産	57,049	7,67
熟金及び保証金	2,596,206	2,429,71
その他	455,439	474,46
貸倒引当金	7,525	7,67
投資その他の資産合計	4,043,377	4,322,46
固定資産合計	11,966,476	12,502,31
資産合計	17,104,631	19,007,57
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,015,706	3,937,67
短期借入金	1,765,000	550,00
1年内返済予定の長期借入金	1,139,225	1,927,01
1年内償還予定の社債	700,000	470,00
未払法人税等	285,650	13,49
賞与引当金	40,700	84,32
役員賞与引当金	14,200	10,99
ポイント引当金	87,695	89,74
その他	658,326	704,31
流動負債合計	7,706,504	7,787,55
社債	930,000	460,00
長期借入金	2,403,575	4,178,00
退職給付引当金	258,549	275,73
役員退職慰労引当金	77,960	68,00
資産除去債務	223,220	235,92
繰延税金負債		8,00
その他	253,362	397,31
C 47 10	-	<u> </u>
	4,146,667	5,622,97

EDINET提出書類 サンワドー(E03238)

四半期報告書

株式会社

EDINET提出書類

株式会社 サンワドー(E03238)

四半期報告書

	前連結会計年度 (平成25年 2 月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,648,335	3,862,784
自己株式	261	261
株主資本合計	5,099,904	5,314,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,555	282,686
その他の包括利益累計額合計	151,555	282,686
純資産合計	5,251,459	5,597,038
負債純資産合計	17,104,631	19,007,574

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)
売上高	23,351,616	23,529,581
売上原価	18,386,669	18,657,650
売上総利益	4,964,947	4,871,930
販売費及び一般管理費	4,268,815	4,419,111
営業利益	696,131	452,819
営業外収益		
受取利息	3,834	4,110
受取配当金	10,166	13,223
不動産賃貸料	27,143	27,274
発注システム使用料	21,928	25,326
その他	35,304	36,047
営業外収益合計	98,378	105,983
営業外費用		
支払利息	62,605	52,647
支払保証料	4,988	3,166
その他	4,922	6,197
営業外費用合計	72,516	62,011
経常利益	721,993	496,790
特別利益		
固定資産売却益	143	823
特別利益合計	143	823
特別損失		
固定資産売却損	356	65
固定資産除却損	309	3,599
投資有価証券評価損	7,882	-
特別損失合計	8,548	3,665
税金等調整前四半期純利益	713,588	493,948
法人税、住民税及び事業税	360,462	212,232
法人税等調整額	36,778	3,914
法人税等合計	323,683	216,146
少数株主損益調整前四半期純利益	389,904	277,802
四半期純利益	389,904	277,802

## 【四半期連結包括利益計算書】 【第3四半期連結累計期間】

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月21日 至 平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	389,904	277,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,488	131,130
その他の包括利益合計	28,488	131,130
四半期包括利益	361,416	408,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,416	408,932
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

#### 【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形 固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響 は軽微であります。

#### 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日) 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

減価償却費 180,546千円 208,216千円

#### (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

1.配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 5 月17日 定時株主総会	普通株式	63,353	12	平成24年 2 月20日	平成24年 5 月18日	利益剰余金

2.基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月21日至平成25年11月20日)

1.配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年 5 月14日 定時株主総会	普通株式	63,353	12	平成25年 2 月20日	平成25年 5 月15日	利益剰余金

2.基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

#### (セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

									12 . 1137
	報告セグメント					その他	調整額	四半期連結 損益計算書	
	リビング	食品	DIY&	カー&	計	(注)1	合計	(注)2	計上額
		2344	グリーン	レジャー					(注)3
売上高									
外部顧客への売上 高	6,868,470	7,173,451	5,154,840	3,025,163	22,221,926	1,129,690	23,351,616	-	23,351,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,312	33	297	28,603	30,248	9,720	39,968	39,968	-
計	6,869,783	7,173,485	5,155,138	3,053,767	22,252,174	1,139,410	23,391,584	39,968	23,351,616
セグメント利益	54,956	182,585	245,538	82,306	565,387	14,952	580,340	115,791	696,131

- (注) 1 . 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
  - 2. セグメント利益の調整額115,791千円には、支払利息の調整額62,605千円、支払保証料の調整額4,988 千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間売上に係る調整額5,446千円が含まれております。
  - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 2.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

									12. 113/
	報告セグメント					その他	調整額	四半期連結 損益計算書	
	リビング	食品	DIY& グリーン	カー& レジャー	計	(注)1	合計	(注)2	計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上 高	6,549,301	7,618,009	5,105,281	3,018,091	22,290,683	1,238,897	23,529,581	-	23,529,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,318	46	1,119	25,810	29,295	10,814	40,109	40,109	-
計	6,551,620	7,618,056	5,106,401	3,043,901	22,319,979	1,249,711	23,569,690	40,109	23,529,581
セグメント利益又は 損失( )	54,882	97,610	206,891	81,951	331,571	17,915	349,486	103,332	452,819

- (注) 1 . 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
  - 2. セグメント利益又は損失の調整額103,332千円には、支払利息の調整額52,647千円、支払保証料の調整額3,166千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間売上に係る調整額4,768千円が含まれております。
  - 3.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 2.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

EDINET提出書類

株式会社 サンワドー(E03238) 四半期報告書

### (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)
1 株当たり四半期純利益金額	73円85銭	52円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	389,904	277,802
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	•
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	389,904	277,802
普通株式の期中平均株式数(株)	5,279,472	5,279,472

<sup>(</sup>注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象) 該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】 該当事項はありません。

EDINET提出書類

株式会社 サンワドー(E03238) 四半期報告書

### 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成.25年12月25日

株式会社サンワドー

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 吉野 保則 印 業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 小川 高広 印 業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンワドーの平成25年2月21日から平成26年2月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年8月21日から平成25年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する 結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠し て四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンワドー及び連結子会社の平成25年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1.上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
  - 2. 四半期連結財務諸表の範囲には XBRL データ自体は含まれていません。